

心身一如

「こころ」と「からだ」を分けてとらえない「心身一如」の考え方は、自然体であることを大事にする方にあつた体調管理です。生薬は、東洋の叡智から生まれた自然のサプリメント。長い歴史に裏付けられた漢方治療のちから、ぜひ一度お試しください。

漢方外来

～痛みとこころの漢方クリニック～

毎週火曜日 13:30 ～ 17:00 (最終予約枠 16:00)

予約 : 03-3364-0251 (代表 ▶ 外科外来へ)

場 所 : JCHO 東京山手メディカルセンター 外科外来

担当医 : 田中 純 哉 (麻酔科非常勤医師)

(※ 治療にはエキス剤 (粉ぐすり) を使用します。煎じ薬の処方はありません。)



漢方は、温める、 ゆるめる、巡らす、整える。

いつも手足が冷えている、なんとなく元気が出ない、おなかが弱い、便秘する、イライラして眠れない……。そのようなつらい慢性症状に漢方は効果的です。からだを温めて緊張をゆるめ、気血水を巡らせて自律神経のバランスを整える。ストレスを抱えがちな現代人にあつた体調管理と言えるでしょう。



【漢方治療が得意とする症状】

- ・疲れやすい
- ・風邪をひきやすい、体調を崩しやすい
- ・冷え症、しもやけ
- ・胃もたれしやすい、食欲がない
- ・便秘しやすい、下痢しやすい
- ・月経痛、月経前症候群、女性更年期障害
- ・夜間頻尿、体力低下、男性更年期障害
- ・慢性頭痛
- ・肩こり、腰痛、関節痛
- ・自覚症状としての痛みや凝り
- ・にきび、湿疹、蕁麻疹、アトピー性皮膚炎
- ・めまい、ふらつき
- ・慢性鼻炎、アレルギー性鼻炎
- ・自律神経失調症
- ・癌、慢性疾患などで体力、
免疫力が低下した状態
- ・各種検査で異常がないのに、
つらい症状がある
- ・西洋医学の治療では効果が実感できない



【漢方薬による疼痛治療】

慢性痛の治療に対しても、漢方治療の基本である気・血・水のバランスを整えることで、結果的に痛みが抑えられることを目指します。治療の際は、気血水のアンバランスの原因を更に、冷え、熱、微小循環不全（瘀血）、水分の偏在（水毒）、ストレス、体力の低下などに分けて検討し、それぞれの原因に対し、温める、冷ます、循環改善、補充など、適切な漢方処方を検討します。

【漢方薬の副作用について】

からだにやさしい漢方薬ですが、副作用が無いわけではありません。漫然と同じ処方を継続することで重篤な合併症を引き起こすこともあります。当外来では初診時に採血結果を確認し、その後も定期的な血液検査を実施することでできるだけ早期に異常を発見し、重篤な副作用が生じないよう細心の配慮をしております。

